

図書館だより

埼玉県立図書館

第55号
平成5年3月1日

編集 埼玉県立図書館
広報委員会
発行 埼玉県立浦和図書館
館長 新井 一久
浦和市高砂3-1-22
電話 048(829)2821

《彩の国・埼玉の祭り》

(主な内容)

- 「埼玉の祭り」(大友 務).....(1)
- 「祭りの見かた」(斎藤修平).....(2)
- 「子ども図書館のドラゴン」(乙骨敏夫).....(3)
- 本のひろば.....(4~5)
- 3~5月の主な催し物.....(6~7)
- Q & Aコーナー.....(8)



小鹿野町小鹿神社の春祭り

埼玉の祭り

大友 務

遠くから幽かに聞こえる笛・太鼓の音、それを耳にしながらか浴衣を着せてもらう―誰でもが幼い日の記憶の二匁に持っているような、日本人の原風景とでもいえそうな祭りの思い出。埼玉県内では、日本三大曳山祭の一つに数えられる秩父祭、人形を乗せた山車行事の川越氷川祭などの大規模なものから、氏子総代が集まってひっそりと行われるだけの祭りまで、規模も形式もさまざまである。

形態は変わっても、これが整っていないければ祭りにはならないという形式がある。御神酒と神饌を供えて神事を行う祭典、冷酒によって神と人との共食となる直会、そして神前から場所を変えて燗酒で盃を酌み交す饗宴の三部構成である。元来は神そのものの舞いという信仰に基づく神楽は神事から、祭り離れなどの民俗芸能は饗宴の中から派生した。祭りの要素の重点の置き方によって種々の祭りの形態が生まれたのである。

(埼玉県立さきたま資料館・専門調査員兼学芸課長)

2012345678913012345

祭りの見かた

斎藤修平

祭りのイメージ
私たちがイメージする日本の祭りの風景といえば、正月三日に純白の晒しの裃を締めた男たちの勇壮な戦いで知られる宮崎宮の玉せせり、三月の東大寺を松明の灯明かりで染めるお水取り、木落としてのシーンで観客の度肝を抜く危険一杯の諏訪大社の春の御柱祭り、豪華絢爛を絵で描いたような夏の京都の祇園祭、ねぶたの名で親しまれている青森の八月の夜景、秋には異国情緒溢れる長崎のおくんち、師走のはじめの秩父夜祭り、といったぐあいではないでしょうか。

それぞれが記憶する祭りを思いつくまま勝手にしてみますと、列島には季節に応じた素晴らしい祭りが溢れていることがよくわかります。テレビから季節ごとに流れてくる祭りの風物詩をお茶の間で何気なく見ている私たちは、祭りの多彩さや当たり前の出来事として見過ごしがちですが、津々浦々にある数多くの祭りを整理してみますと、「日本は祭りの宝庫である」ことがわかります。また、それを支えている「日本人は本当に祭り好きだ」ということ

も見えてくるようです。

祭りの整理学

さて、ここではお祭りの整理学から話を進めていきたいと思います。おびたらしい祭りとうまく付き合うためには、整理が一番です。祭りは風物詩としてオンエアされているように、季節（特定の時期）と結びついているというのがポイントです。春祭り、夏祭り、秋祭り、冬祭りという言葉がそれを物語っているわけです。

特定の時期にある代表的行事といえ、お正月とお盆です。お正月は冬から春へと移行する境目に、お盆は夏から秋へとゆっくり移行して折り返しに行われてきた行事ですね。お正月は年神様をお迎えし、お盆にはご先祖様をお迎えしています。この時期に祭りが多く集中しています。

つきに、祭りの多くが作物、とりわけ稲の実りなど農業と結びついてきたという事実です。ハイテク社会の現在では想像しにくいことですが、作物の稔りこそが多くの日本人にとって切実な問題であったからです。人々の共通の願いである五穀豊穡は水と陽光をもたらす天候の具合、病虫害の発生、台風の来襲などいくつものハードルを越えなければならぬか達成しにくい目標で、人々は神の

加護をしっかりと求めていたわけですね。ですから、春は豊作でありますようにと願う祭りがあり、夏にはどうか悪い病気がはやらないように祈りの祭りがあり、秋にはお陰様でこれだけ収穫できましたと感謝する祭りがあるわけで、その都度、願いを込めてお祭りをしたわけですね。「祭りは農業とともにある」と理解しておけば、大半の祭りの意味は理解できるわけです。

埼玉の祭り

さて、埼玉の祭りですが、埼玉も山間部から平野部まで多彩な祭りにあふれています。正月は家を単位にさまざまな祭りが行われております。また、各地の神社で執行されている簡かゆ神事は豊作を占う年頭の重要な祭りとなつています。県東部では弓的を射るオビシヤ行事が知られています。



吉川町のオビシヤ行事

水がぬるむころになるとお田植え祭りが秩父の榛神社で行われていま

す。田植えの儀礼を合図にいよいよ川下では農耕の開始となるわけですね。田植えが進むと、五月の空には養蚕の豊作を祈願しての大だこが庄和町西宝珠花の空に舞います。夏は妻沼町葛和田に伝わる疫病よけのあばれみこし、疫病流しの伝承を持つ荒川村白久の甘酒まつり、稲の害虫を駆除する祭りである越谷市北川崎の虫追い、形代を流し穢れを清め、茅の輪をくぐる鷲宮町鷲宮神社の夏越まつり、悪疫退散を祈る上尾市平方のどろいんきよ、盆行事として知られる美里町猪俣の百八灯などの祭りが繰りひろげられています。秋は勇壮な農民ロケットで知られる吉田町榛神社の竜勢、江戸のにぎわいをほうふつとさせる川越水川まつり、古式にのっとり厳かに執行される毛呂山町出雲伊波比神社のやぶさめ、安産を祈願する神泉村有氏神社の裸まつりなどが行われています。暮れは秩父夜まつり、大宮の水川神社の大湯祭、神を感謝して山にお送りする小鹿野町八幡神社の鉄砲まつりが続いており、神にこの一年間感謝の意を込めた祭りが並んでおります。

(県立民俗文化センター 主任学芸員)

子ども図書館のドラゴン

乙骨敏夫

オーテンセ。アンデルセンが生まれ育ったことで知られるデンマーク第3の都市である。童話の世界さながらのこの美しい町に、私は昨年11月17日から21日までの5日間、埼玉県教員等海外研修派遣団(第7団)の一員として滞在した。忘れがたい印象を数多く今に残すその思い出の一端を少し記してみたい。

子ども図書館を訪れたのは滞在2日目のことである。アンデルセンの像が川で遊ぶ白鳥を見つめる静かな公園を背景にして、煉瓦造りの古びた小さな図書館はひっそりと佇んでいた。建物の中に入ると、意外に広く明るいことに驚かされる。赤やオレンジの単色の背を見せる棚の本が暖かな雰囲気を出し、それ自体インテリアのようである。市の図書館行政を司り、図書館長も務めるクリスチャンセンさんが、部屋で読書する子どもたちを優しく見渡してから、「デンマークの子どもは本が好きで、ここオーテンセでも14歳以下の子の80%までもが図書

館を利用しています」と語ってくれた。金髪をショートカットにし、眼鏡をかけた背の高い彼女は、実にエネルギー溢れる人だ。その言葉からは子どもたちと図書館に向ける溢れんばかりの情熱が感じられた。

図書館に教育者は要りません。必要なのは子どもたちの弁護士です。図書館は楽しいところではないから、読書以外の子どもたちの欲求をも満たす場所であるべきです。クリスチャンセンさんは図書館のことを「ソファア」とも呼んだ。時々、図書館で子どもたちにお金を与えて、好きな本を買わせるようにしているそうである。買う本の選択に立ち入ることはせず、読んだ後で本の内容と感想を子どもから聞くだけだという。自覚を持たせることが目的なのだと言った。また、「この図書館に関しては、市から施設してもらえなかつたので、部屋のレイアウトなどはすべて子どもたちが自分でやっただけです」と嬉しそうに語った時の、いたずらっぽい眼差しも忘れられない。どちらも、子どもを全面的に信頼しているからこそできることなのだろう。一時間にも満たぬ短い見学だったが、実り多いひと時であった。

オーテンセを離れ、ロンドンからリヨンへと旅を続けるうちに、クリスチャンセンさんと子ども図書館の印象も少しずつ薄れていった。記憶がはつきりと蘇つたのは、16日間の研修を終えて帰国した日、荷を解きながらトランクの片隅にべじやんこになった一枚のポストカードを発見した時である。そこには本を手にしたドラゴンの絵が描かれていた。確かクリスチャンセンさんが、オーテンセの子どもたちの守り神だと言ってプレゼントしてくれたのだった。子どもたちを守るドラゴン。あの時は何とも思わなかつたが、考えてみると不思議な組み合わせである。

気になったので少し調べてみることにした。わかっただけは「いや、本当は複雑すぎてよくわからなかつたという方が正しいのだが」、西欧には良くないということがある。多くの神話で人間の手には負えない凶暴な自然現象を象徴し、キリスト教ではすばらしい悪魔とみなされる。ひどいものである。しかし悪いイメージばかりかというところでもない。古い物語や民話のなかで、ドラゴンは隠れた知恵を象徴する宝や乙女を守

る守護神ともされているのである。デンマークはプロテスタントの国だが、北欧神話とウァイキングの古い伝統がある。ひよつとしたら、知恵の守護神としてのドラゴンのイメージが底流のごとく生きていられるのかもしれない。これは別に、現代人にとって、ドラゴンが持つような恐ろしい怪物ではなく、どこかユーモラスな存在になつてしまつたという言葉も目にした。ユーモアを湛えた知恵の守り神。そう思つて眺めると、ポストカードの絵も何だかそれらしく見えてくるから面白い。

あれから3か月が経つ。オーテンセの子どもたちは今も、そしてこれから先も、クリスチャンセンさんと不思議なドラゴンに守られていくのだろう。いや、子ども図書館のドラゴンはそのもそもクリスチャンセンさんその人かもしれない。だとして、取りとめない思いの中で、今はオーテンセが大変懐かしく感じられる。(埼玉県立浦和図書館)





彩の国 埼玉の祭り

都市化のすすむ埼玉県にも、数多くの祭りが地域の人々によって育まれています。今回は、県立図書館で所蔵する埼玉の祭りに関する資料のうち、比較的新しいものを中心に紹介します。

【図書】

- 埼玉県全域 埼玉県教育委員会 '80
- 埼玉の神楽 埼玉県民俗芸能緊急調査報告書第2集 (埼玉県民俗芸能緊急調査報告書) (浦熊川久)
- 埼玉のまつり 国土地理協会編 埼玉県民部自治文化課 '89 (埼玉ふるさとシリーズ3)
- 埼玉県内各地の伝統ある祭り60件を、文と写真により四季に分けて紹介。 (浦熊川久)
- 埼玉のまつり 写真集 高橋泰輔、高橋勇著 埼玉新聞社 '77
- 県内のまつりをカメラで追い求め、50か所をつぶさに調べて、地図や説明を加えて完成させた写真集。 (浦熊川久)
- 埼玉の祭り 埼玉県教育委員会 (埼玉県祭礼基本資料収集調査報告書) (浦熊川久)
- 新しい地域社会の形成や伝統的文化の認識のために、昭和57年度から昭和59年度までの3年間実施した埼玉の祭りに関する調査報告書。 (浦熊川久)
- 埼玉の祭り 1-4 埼玉県立民俗文化センター '88-'92 (埼玉県民俗芸能調査報告書 第7-10集)
- 児玉・大里地方編、秩父地方編、比企・入間地方編、入間地方編? まで刊行。昭和63年度から5か年計画で調査中である。 (浦熊川久)
- 獅子舞の分布と伝承 埼玉県教育委員会 '82 (埼玉県民俗芸能緊急調査報告書 第4集)
- 「獅子舞王国埼玉」の獅子舞の分布を知る資料と15か所の伝承形態を掲載。 (浦熊川久)
- 北足立地方 大戸の神楽 与野市教育委員会 '78 (与野市文化財報告書 第3集) (浦熊川久)

- 下戸田ささら獅子舞 戸田市立郷土博物館 '90 (戸田市立郷土博物館報告書 第2集 戸田市の民俗芸能2) (浦熊川久)
- 白子ばやし調査報告書 和光市教育委員会 '81 (和光のむかし 第9集) (浦熊川久)
- 戸田市の祭り 戸田市立郷土博物館調査報告書 第4集 戸田市の民俗芸能4 (浦熊川久)
- 原馬室の獅子舞・棒術 埼玉県立民俗文化センター '85
- 鴻巣市原馬室における獅子舞と棒術の無形の技を記録保存した資料。 (浦熊川久)
- 比企・入間地方 おこせの祭りと芸能 越生町教育委員会 '90 (越生叢書1) (浦熊川久)
- 川越まつり 大江戸の天下祭を今に伝える 川越市観光協会 '83 (浦熊川久)
- 川越祭り 山田勝利ほか文 里見文明ほか撮影 言叢社 '86
- 昭和59年度・昭和60年度の2年度にわたる川越祭りの水川神社神幸祭と山車祭礼の記録写真集。貴重な古写真や祭礼由来記なども掲載されている。 (浦川久)
- 川越まつりと山車 ふるさとを語り継ぐ一丁目二丁目の場合 木下雅博著 川越市文化財保護協会 '85 (浦熊川久)
- 狭山市の無形民俗文化財 1・2 狭山市教育委員会 '88-'90 (狭山市文化財調査報告15・18)
- 1 広瀬浅間神社の火祭り
- 2 柏原の獅子舞・柏原の祇園獅子・信立寺おめいこう・諏訪神社なすとりかえ(なすまつり)、 (浦熊川久)
- 狭山のお祭り 狭山の絵本2 池原昭治著 さやま市民文庫刊行会 '86 (さやま市民文庫5) (浦熊川久)
- 南畑八幡神社獅子舞 伊藤正和著 (富士見市) 南畑八幡神社獅子舞保存会 '77 (浦熊川久)
- 武州川越の祭り 小林三郎絵と文 たなか屋出版部 '86 (川越選書3) (浦川久)
- ほろ祭 川越市古谷本郷 埼玉県教育委員会 '80 (埼玉県選抜無形民俗文化財シリーズ8) (浦熊川久)
- 毛呂の流鏝馬 埼玉県立民俗文化センター '86 (埼玉県民俗芸能調査報告書 第5集)

一名「ホイホイ祭り」と称される毛呂山町出雲伊波比神社に奉納される流鏝馬行事についての報告書。 (浦熊川久)

秩父地方

- 甘酒祭 秩父郡荒川村白久 (猪鼻) 埼玉県教育委員会 '82 (埼玉県選抜無形民俗文化財シリーズ10) (浦川)
- 飯田八幡神社の祭り (鉄砲祭) 秩父郡小栗野町飯田 埼玉県教育委員会 '81 (埼玉県選抜無形民俗文化財シリーズ9) (浦熊川久)
- 秩父大祭 歴史と信仰と 千嶋寿著 埼玉新聞社 '81 (浦熊川久)
- 秩父地方における民俗芸能実態調査報告書 中近における秩父屋台囃子の現況 埼玉民俗音楽調査会 '91 (浦熊川)
- 秩父地方の火祭り (1・2) 埼玉県教育委員会 '89-'90 (秩父の山村民俗文化財調査事業報告書 第1・2集)
- 小鹿野町半平の天王焼き、吉田町大波見のドンド焼き、小鹿野町橋詰のドウ、ロク神焼き、第2集では秩父市久那の天狗祭り (テングウ祭り)、荒川村原の天狗祭り (テングウ祭り) を収録。(浦熊川久)

秩父の祭りと行事 堀口英昭著 ちの木会 '92

秩父夜祭

- 秩父夜祭 清水武甲撮影 秩父祭保存委員会編 増補版 言叢社 '84
- 秩父祭の屋台行事と神楽が昭和54年2月、国の重要無形民俗文化財に指定されたことを機に、後世への継承保存のために刊行された写真集。 (浦熊川久)
- 秩父夜祭 秩父観光協会 '86 (久)



秩父夜祭 (原典: 秩父夜祭)

- 塚越の花まつり 秩父郡吉田町大字上吉田 (塚越) 埼玉県教育委員会 '86 (埼玉県選抜無形民俗文化財シリーズ14) (浦熊川久)
- 長瀬町祭り歳時記 長瀬町郷土研究会 '85 (浦熊川久)
- 祭りと芸能 両神村史編さん委員会編 両神村 '88 (りょうようかみ双書2) (浦)

川輪神楽 美里村教育委員会 '82

北埼玉地方

- 深谷の祭歳時記 深谷八坂祭り30年記念 深谷市秘書室広報広聴課編 深谷市 '89 (浦熊川久)
- 本庄まつりの山車 水島治平著 本庄市教育委員会 '85 (浦熊川久)
- 本庄まつりの山車調査報告書 本庄市教育委員会 '92 (本庄市文化財調査報告1) (浦熊川)
- 北埼玉地方 神楽とささら 騎西町教育委員会 '83
- 騎西町の玉敷神社神楽と雷神社獅子舞の調査報告書 (浦熊川久)
- 玉敷神社神楽 騎西町教育委員会 '79 (浦川)

- 南埼玉・北葛飾地方 榎の祭礼と獅子・神楽 埼玉県立民俗文化センター '83 (埼玉県民俗芸能調査報告書 第2集)
- 北葛飾郡庄和町の榎地区に伝わる獅子・神楽について詳細に調査記録したもの。 (浦熊川久)
- 祭礼獅子 五段 中村忠一編 久喜市教育委員会 '79 (浦)
- 下間久里の獅子舞 埼玉県立民俗文化

化センター '82 (埼玉県民俗芸能調査報告書 第1集)

【ビデオテープ】

- 熊谷うちわ祭 平成4年度 テレビ熊谷 '92 90分 (浦熊)
- 下戸田のささら獅子舞 戸田市立郷土博物館 '90 60分 (浦熊)
- 下細谷ささら獅子舞 吉見町教育委員会 '92 30分 (浦熊川)
- 秩父夜祭 平成版 イーエスピー '90 25分 (浦)
- 【16ミリ映画フィルム】
- 川越まつり 民映研 '90 48分 (川)
- ※(一)内の略語は、次の各館の所蔵を表します。
- 浦……埼玉県立浦和図書館
- 熊……埼玉県立熊谷図書館
- 川……埼玉県立川越図書館
- 久……埼玉県立久喜図書館

らびらびら

3〜5月の主な催し物

●県立浦和図書館 (048-626-263)

著者を囲むついで

3月13日(出) 14時 志木市民会館

演題 「江戸のくらし」

講師 杉浦日向子氏

申込みは電話で志木市立柳瀬川図書館 (048-626-263) へ

定員120人(先着順) 入場無料

春休み子ども映画会

3月30日(火) 10時・14時

「ガッツ親父とオサム」

現代社会の歪みのひとつの現れとして、親子の断絶を始めとした

家族関係の崩壊が問われている。

主人公のオサムが、父親の仕事に

立ち向かう姿や、心の優しさにふ

れ、心を開いていく物語。

「ミッキーマウスとブルート」

土曜親子映画会

3月13日(出) 10時

「赤い風船」

パリの街での赤い風船と少年の

不思議な愛情の交わりを、風船の

動きに人情を仮託するという奇抜

な着想で描く。

「金の卵を産むニワトリ」

ある日飼っていたニワトリが金

の卵を産んだ。次の日も、その次

の日も。貧乏なおじいさんとおば

あさんは、ニワトリのおなかには

金がつままっているに違いないと、

おなかを切ってしまう。イソップ

物語。

4月10日(出) 10時

「荒城の月―滝廉太郎物語」

「ババロワさん こんばんは」

5月8日(出) 10時

「オバケちゃん」

「ジャングル大帝 冒険」

金曜映画会

4月23日(出) 14時

「おばあちゃん ほほえみをもう

一度」

「中世武士の世界」

5月21日(出) 14時

「うみ・そら・さんごの

いいたたえ」

い、という欲望にかられた男が、

一匹の子グマを追いつめたとき、

母グマのおそろしいなり声がひ

びいた。クマの親子の愛情と男の

心情の変化を描く。

映画の集い―遺跡は語る

4月23日(出) 14時

「森と縄文人」

今日の森林破壊の現状を思うと

き、森の中に生活の糧を求め、森

と共存してきた縄文時代の人々の

生活を見直すことも有意義ではな

かるうか。

「発掘吉野ヶ里遺跡」

工業団地として生れ変わるはずだ

った吉野ヶ里が、平成元年、一躍

全国の注目を浴びた。邪馬台国の

謎に迫る映像ドキュメント。

親子映画会

5月8日(出) 10時・14時

「ガッツ親父とオサム」

映画の集い―古典文学の世界

5月21日(出) 14時

「枕草子」

清少納言の優れた文章表現を味

わうとともに、平安朝の生活や習

俗を表す映像資料によって、古典

の世界に導かれる。

「新古今和歌集」

●県立熊谷図書館 (048-513-265)

名作子ども映画会

3月13日(出) 10時・14時

「ある鳥のきつね」

「三死満塁」

春の子ども映画会

3月26日(出) 14時

「ピーターパン」(ビデオデイス

ク)

「懐惚の人」

原作 有吉佐和子

監督 豊田四郎

出演 森繁久彌 高峰秀子 他

有吉佐和子原作のベストセラ―

小説の映画化。単なる老人問題と

してではなく、人間同志の愛情を

描いた秀作。

春休み子ども映画会

4月6日(火) 10時・14時

「ムーミン

「はばたけ/ベガサス」

とつせんの大地震で、おさびし

山がくずれ、ベガサスの白骨が見

つかりました。ベガサスをみんな

で復元することになりました。

「なっちゃんのカヤキ」

「鉢かづき姫」

金曜映画会

3月5日(出) 14時

「チャップリンの伯爵」

「チャップリンの舞台裏」

「チャップリンの冒険」

3月19日(出) 14時

「日本の美術工芸」

日本美術の中核をなすといっ

てよい伝統的な美術工芸の醍醐味を

七人の代表的な芸術家たちの人と

作品によって伝えようとしたもの。

「浮世絵と歌川広重」

浮世絵を手がかりとして、江戸

中期の町人のくらしや、新しい文

化の特色を具体的にとらえられる

ようにしたもの。

4月23日(出) 14時

「ゴミから暮らしを考える」

「ゴミ減量作戦」

春休みビデオディスクコンサート

4月2日(金) 10時・14時

「Live for you 高橋真梨子」

「あしたふたの日ぶたじかん」

ほくは新聞記事を書いて、神社

の掲示板に貼った。「ほんとしん

ぶん」は、人を怒らせるから、「う

そ新聞」にしたんだ。それなのに

…。(原作/矢玉四郎)

子ども映画会

4月10日(出) 14時

「リトルツイーンズ・フェアリーリ

ングの真ん中で…」

「やさしい愛をください」

愛犬タローの事故がもとで、口

を閉ざしてしゃべらなくなった健

一は、近くにある「ふれあい動物

園」に行くうち、そこで働くやさ

しい人々に心を開きはじめる。

5月8日(出) 14時

「少年モーグリ

「おきてより大切なもの」

「ムーミン」

「はばたけ/ベガサス」

「はばたけ/ベガサス」

●県立川越図書館 (048-214-560)

名作映画会

3月6日(出) 10時・14時

「幸福の黄色いハンカチ」

刑務所を出たばかりの勇作は、

若い男女と一緒に旅をすることに

なる。北海道を舞台に、ストイッ

クな高倉健とコミカルな武田鉄矢

とが絶妙にからみ合いながら、感

動のラストシーンを迎える。山田

洋次監督作品。

春の子ども映画会

3月26日(出) 10時・14時

「きこりのドナルド」

「ひよっこりひよたん島」

お馴染みの博士、サンター先生

をはじめとして、海賊トラヒゲ、

大統領ドンカバチヨ、マリィ、チ

ヤッピらが、ひょうたん島にのっ

て大海原を漂流します。アニメ版。

4月10日(出) 10時・14時

「フランダーズの犬」

ある日、ネルロ少年とタース老

人は、道端に倒れている犬を助け

てパトラッシュと名づけました。

少年と老人と犬の交流を中心に

動物愛護、友情、芸術へのあこが

れなどを描く。

「月の輪くま」

子グマをつかまえて飼ってみた

●県立久喜図書館 (048-313-655)

名画鑑賞会

3月6日(出) 10時・14時

「息子」

椎名誠の原作を基に、名匠、山

田洋次監督が描く父と息子の心暖

まるドラマ。

出演/三国連太郎、永瀬正敏、

和久井映見(ほか)

映画会

3月19日(出) 14時

「温泉と健康」

「寝たきりゼロへの10か条」

4月23日(出) 14時

「素敵にボランテア」

「いきいきライフ大発見」

5月21日(出) 14時

「獅子頭に雪が降る」

春休み子ども映画会

3月26日(出) 10時・14時

「うみ・そら・さんごの

いいたたえ

石垣島を舞台に繰り広げられる

海と人間たちのドラマ。

監督/椎名誠

撮影/中村征夫

出演/余貴美子、本名陽子、

紺野美沙子(ほか)

4月2日(金) 10時・14時

「ジャングル大帝 冒険」



「あしたふたの日ぶたじかん」

ほくは新聞記事を書いて、神社

の掲示板に貼った。「ほんとしん

ぶん」は、人を怒らせるから、「う

そ新聞」にしたんだ。それなのに

…。(原作/矢玉四郎)

子ども映画会

4月10日(出) 14時

「リトルツイーンズ・フェアリーリ

ングの真ん中で…」

「やさしい愛をください」

愛犬タローの事故がもとで、口

を閉ざしてしゃべらなくなった健

一は、近くにある「ふれあい動物

園」に行くうち、そこで働くやさ

しい人々に心を開きはじめる。

5月8日(出) 14時

「少年モーグリ

「おきてより大切なもの」

「ムーミン」

「はばたけ/ベガサス」

「はばたけ/ベガサス」

Q&Aコーナー

図書の利用方法と、そのほかの資料の利用方法などについて教えてください。

Q初めて県立図書館の図書を借りる場合、手続の方法を教えてください。

A初めての方は登録していただきます。運転免許証や保険証などで住所(在住・在勤・在学)を確認させていただいた後に、図書の利用券を3枚発行します。図書を借りる際に、図書と利用券を一緒に貸出カウンターにお出しください。利用券は図書館でお預かりし、図書を返却していただいた時にお返しします。一回3冊まで、利用期間は15日間です。

Q幼児も利用できますか。
A何歳からでも登録できます。児童室で手続きをいたします。利用冊数・利用期間は同じです。また、児童室では定期的におはなし会を開催していますので、ご都合がつかない時にはぜひおいでください。図書館が閉館しているため図書を返却できない場合はどうすればよいですか。

A閉館時の図書の返却は、ブックポストをご利用ください。利用券は図書館でお預かりしていますので、後日、米館された時にお返しします。

QレコードやCDなど、図書以外の資料も利用できるそうですが、どのような資料を収集しているのですか。

A新聞・雑誌・マイクロフィルムなどのほか、16ミリ映画フィルム・レコード・ビデオディスク・CD・録音テープなどの視聴覚資料を収集しています。

Q具体的に利用方法を教えてください。
A新聞・雑誌・マイクロフィルムは原則的に館内で閲覧していただきます。マイクロフィルムは備えつけのマイクロリーダーを操作してご利用いただけます。

Q視聴覚資料の利用方法を教えてください。
A雑誌については、県立4館(浦和・熊谷・川越・久喜)で利用方法が異なっていますので、各館の担当窓口におたずねください。なお、これらは著作権法の範囲内で複製することも可能です。

ください。

A視聴覚課では、16ミリ映画フィルム・映写機等の貸出しを県内の機関・団体を対象に行っています。一回5点5日以内です。利用する日の2か月前から予約することができます。なお、映写は16ミリ映写技術講習会終了証をお持ちの方が行ってください。

Qレコード・録音テープなどは個人利用できますか。詳しくは、各館の視聴覚課にお問い合わせください。このほか、毎月各種映画会を開催しています。日程は、チラシを作成して館内に掲示するほか、「図書館だより」や「県民だより」などに掲載されますのでご覧ください。

Qほかに、どのようなサービスを行っていますか。
A視覚障害のある方を対象に、希望する資料の対面朗読や、録音テープの製作・貸出しなどのサービスを行っています。この業務は県立川越・久喜図書館の障害奉仕課で行っています。

移動図書館車が県内の図書館未整備市町村を定期的に巡回し、図書の貸出しを行います。移動奉仕課ではこのほかに、読書グループに

同一図書をセットで貸出すサービスも行っており、6セットまで、2か月間借りられます。

Q図書館にはいろいろな業務があることがわかりました。誰でも、きめ細かいサービスを受けられるように配慮されているわけですね。

A図書館では、多様なサービスを提供できるように、いろいろな業務を分担して行っています。ここに紹介できなかったものも多々ありますが、利用者の皆様には、図書館の仕事を理解していただき、大いに活用していただければ幸いです。



編集後記

「彩の国埼玉の祭り」の特集はいかがでしたか。祭りは私たちの「心のふるさと」。愛するふるさとを見直す機会になれば幸いです。次号では、埼玉の古墳に関する特集をお届けする予定です。どうぞお楽しみに。